

【取組内容】 情報活用能力を向上させるための研修～webデザインツールを活用して～

1 研修による職員の情報活用能力の向上

1 中学校区で共通のwebデザインツールを設定



2 児童の個別最適な学びや協働的な学びに生かすための研修

- (1)webツールの機能拡大のための申請
- (2)職員のwebツールへのログイン
- (3)具体的な操作を伴うwebツールの基本的な操作方法の習得
- (4)現在活用しているGoogle for educationとも組み合わせて、授業へ応用する方法の提示

※ 2の(1)～(4)を研修において行い、職員の情報活用能力を向上させる。



2 研修の実際

1 webツールの操作を習得するために

- (1)ワークシート作成を通じた基本的な操作
 - ・テキストボックス、素材、画像のアップロード、マジック生成
- (2)プレゼンテーション・ホワイトボード作成を通じた基本的な操作
 - ・文字や音楽の挿入・時間操作、デザインの選択、QRコード作成、動画作成
- (3)アップロード、ダウンロードの方法

2 授業への応用

- (1)作成したデザインの児童への共有方法
- (2)プレゼンテーションを活用した話し合い活動
 - ・付箋の活用
 - ・ホワイトボードへの変換
- (3)classroomへのアップロードと児童への配付

3 研修後の変容

研修以降は、積極的に各教科や学級活動などでwebデザインツールを活用し、児童の個別最適な学びや協働的な学びにつなげているため、児童の情報活用能力も同時に向上している。



自分の考えを効果的に表現し、伝えるための学習方法の工夫とその実践効果

C班用

<p>【他者評価】 読み手を意識した表現力向上のための評価改善の取組</p> <p>効果があったもの ・他の者の視点に見ることができた。</p> <p>改善点 ・言葉確認カードの枚数が多すぎて、視点が定まらなかった。 ・本物のねらいに応じたカードもしくは、ねらいが書かれた部分を表示する。</p>	<p>【再検討・振り返り】 評価を習得後、自分の表現を再検討する活動、および学習への振り返り</p> <p>効果があったもの ・児童の意見で、読すよりもパドレットが良いとのこと。言葉が読める、思いついたときに記入できるから。</p> <p>改善点 ・語数の多い表示の場合は、スプレッドシートでの振り返りの量感が有効？</p>	<p>【ICTの活用】 webデザインツールを活用する学習方法の取組</p> <p>効果があったもの ・パドレットはキャンパドで作成できてよかった。(操作性、クオリティ) ・パドレットの取り回りがペンでリアルタイムで表示されてわかりやすかった。 ・パドレットの中での剪断が有効だった。情報発信しない児童も打ち込めている。学力が低い子もある程度入力できる。(モチベーション)</p> <p>改善点 ・用途や目的に合ったICTの活用。 ・ICTに慣れない児童。(資料の書き方を教えるように)</p>
---	---	--

☆出た意見は箇条書きまでまとめてください。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

かすみがうら市立霞ヶ浦北小学校（茨城県）【指定校】

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びを充実させる取り組み～本校のテーマと関連させて～

1 リーディングDXと本校の研究テーマとの関連付け

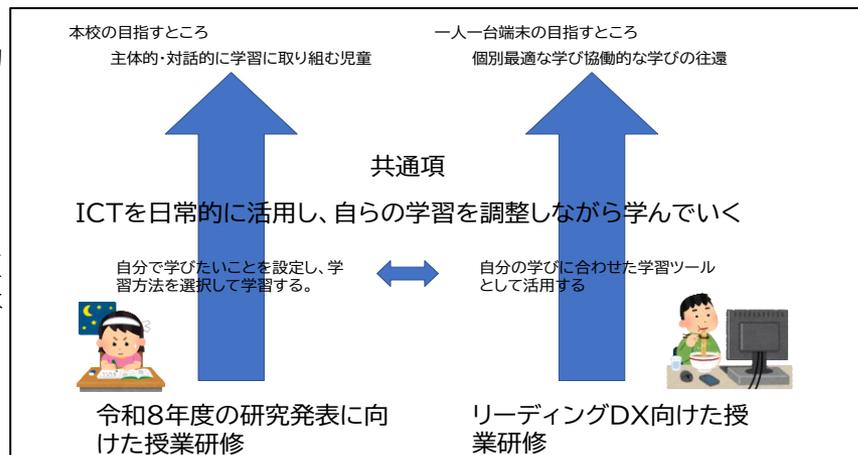
○ 本校の研究テーマとのつながり

本校では、目指す児童像につなげるため段階を追って次の活動に取り組んでいる。

- ・自分で学習方法を選択できる授業づくり
- ・自分で学びたいことを設定できる授業づくり

自らの学習を調整しながら学んでいく。
個別最適な学び

この取り組みに、リーディングDX事業の趣旨を踏まえるとICT機器を自分の学びに合わせた学習ツールとして活用して区ことで、児童の個別最適な学びや協働的な学びへのつながり、本校の取り組みにもつながっていく。



2 授業の実践

○ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させる取り組み

本校ではwebツールや生成AIを活用した授業を展開し、個人やグループでの活動に役立てた。(実践例)

- ・校外学習の際の質問等を生成AIに投げかけ、出てきた回答を児童が再度検討する活動。
- ・複数のwebツールを活用して、児童が作品を作成・評価・再検討する活動。
- ・生成AIに個人の目標や振り返りを評価させ、再度自分の活動を見つめ直す活動。
- ・学習形態や思考ツールを複数用意し、児童が選択できる配慮を行うことで、個別最適な学びや協働的な学びを充実させる活動。

etc.

○ 児童の変容

自分の考えを表現したり、友達の作品を参考にしたりとICT機器の特徴を捉えて、課題ごと自分たちの学習に役立てている児童の姿が見られる。



【取組内容】 校務の効率化を図った取り組み～北小学校サイトの作成と活用～

1 校務の効率化を図った取り組み

○ 北小学校の職員が見られるサイトを作成

情報の伝達や各種アンケートの依頼などを職員が場所と時間を問わず確認できる北小学校のサイトを作成した。

○ サイトの内容

省令主任、各クラス、月・週予定、職員会議要項 etc.

○ 成果と課題

・ 成果

月予定やアンケートの依頼等、学年のお知らせなども管理

- ・ 月予定の蓄積やアンケートの依頼など、円滑に行えた活動もあった。
- ・ 学年のお知らせなどを保存・蓄積する学年もあるので、次年度への引き継ぎも容易となる。

・ 課題

職員室内に専用のPCを置くなど、使い勝手の部分を改善

- ・ 北小の職員であれば見られるが、支援員や相談員、非常勤講師などアドレスを持たない職員への周知ができていないため、職員室にサイト専用のPCを置くなど、改善が必要である。

classroomとの併用

- ・ 特性は違うがclassroomも同じことができるため、classroomのとの棲み分けなど今後の改善が必要になる。

